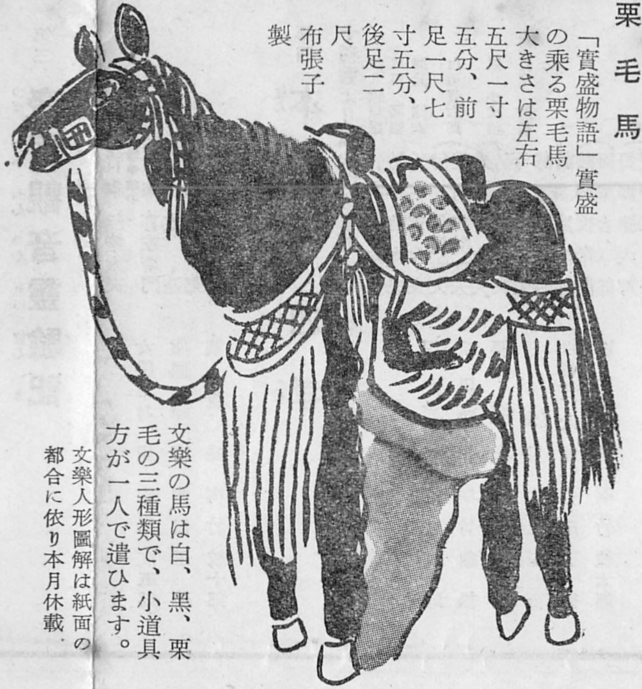
## 文樂小道具圖解　其三十七

齋藤清二郎解説並繪（轉載不許）



**栗毛馬**

「實盛物語」實盛の乘る栗毛馬大きさは左右五尺一寸五分、前足一尺七寸五分、後足二尺
布張子製

文樂の馬は白、黑、栗毛の三種類で、小道具方が一人で遣ひます。

文樂人形圖解は紙面の都合に依り本月休載

---

### ◇御觀劇料◇

一等席……三圓五十錢（一階座席三十錢上り）
二等席……一圓五十錢
三等席……六十錢（各等入場税別）

★初日各等約二割引★

### ◇晝間興行御觀劇料◇

一等席……一圓五十錢
二等席……七十七錢
三等席……四十二錢（各等入場税別）

### ◇前賣と團體◇

一等御座席
一等椅子席　は五日前より前賣切符發賣致します

前賣切符專用電話　南(75)四七壹壹番
一般御用の電話　南(75)三〇三二番　三七八八番

◎團體の御申込は特に御便宜に御相談申上げます

**御案內**

お草履の準備は御座ゐますが靴、草履はそのまゝ御入場出來ますから御便利で御座ゐます。

### ◇出演者

病氣其他の事故にて出場不可能の場合は乍勝手代役にて相勸めますから豫め御諒承願ひます。

---

## 十一月興行京阪神松竹系各座御案內

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 大阪 | 大阪 | 大阪 | 大阪 | 大阪 | 大阪 | 大阪 | 京都 | 神戸 |
| | 歌舞伎座 | 中座 | 角座 | 辨天座 | 浪花座 | あしべ劇場 | 大劇 | 南座 | 松竹劇場 |
| | 林又一郎襲名延長興行<br>正午と五時開演<br>晝夜二部興行 | 松竹家庭劇<br>正午と五時二回開演<br>好評!! 打越し驀進!! | 厚生劇<br>關西歌舞伎大合同<br>晝・正午<br>夜・五時　二部開演 | 金井修一座<br>正午より二回開演<br>（日曜・祭日十時より） | 新興演藝特輯番組<br>毎日正午開演<br>日曜・祭日十時開演 | 大阪中で一番安い<br>笑ひの劇場<br>毎日正午開演<br>日曜・祭日十時開演 | 灰田勝彦<br>五日より　草笛美子<br>の實演<br>十二日より　松竹少女歌劇總出演　かぐや姫 | 井上正夫<br>水谷八重子　合同劇<br>藤村秀夫特別加入<br>毎日四時開幕<br>日曜・祭日は晝間興行 | 曾我廼家五郎劇<br>十一日まで<br>毎夕四時半開演<br>日曜・祭日は正午より晝間興行 |
| 一部觀劇料 | 櫻　、八〇<br>菊　一、〇〇<br>三等席　一、四〇<br>二等席　二、〇〇<br>一等席　三、五〇<br>（税別） | 四等席　、五〇<br>三等席　、七〇<br>二等席　一、〇〇<br>一等席　一、七九<br>特等席　二、二〇<br>（税別） | 四等席　、五〇<br>三等席　、七〇<br>二等席　一、〇〇<br>一等席　二、〇〇<br>特等席　二、五〇<br>（税別） | 平場椅子席　、六九<br>一等席　一、三〇<br>（税別） | 階下席　、九三<br>階上席　一、六八<br>（税別） | 階下席　、五四<br>階上席　、九三<br>（税別） | 同時封切映畫は<br>一週・歌ふ狸御殿<br>二週・をもかげの街<br>三週・女の手<br>四週・あなたは狙はれてゐる | 五等席　、五〇<br>四等席　一、〇〇<br>三等席　一、五〇<br>二等席　二、〇〇<br>一等席　三、七五<br>（税別） | 四等席　、五〇<br>三等席　一、〇〇<br>二等席　一、五〇<br>一等席　二、九〇<br>（税別） |

昭和十七年十一月一日發行
發行所　大阪四ツ橋　文樂座
發行兼編輯人　下村清次郎
印刷所　永井日英堂印刷所（西大三四）

---

十月興行より引續き至々延長上演

# 霜月興行　人形淨瑠璃

（狂言一部變更）

四ツ橋畔　文樂座

## 十一月一日初日

初日　午後三時開演
毎日　午後三時半開演

### 第一　源平布引瀧

竹生島遊覧の段より實盛物語の段迄

竹生島遊覧の段

實盛　竹本七五三太夫
小まん　竹本源太夫
竹本文太夫
左衛門　竹本長尾太夫
豊竹伊勢太夫
忠太　竹本隅若太夫
豊竹松島太夫
宗盛　竹本文字太夫
豊竹司太夫
鶴澤綱造

瀬尾十郎詮議の段

中　竹本源太夫
野澤（勝芳改め）勝太郎
竹本文太夫
野澤（網延改め）錦糸
次　竹本大隅太夫
鶴澤清二郎

齋藤實盛物語の段

切　豊竹古靱太夫
鶴澤清六

【人形役割】

齋藤別當實盛　吉田榮三
小まん　桐竹政龜
飛彈左衛門　吉田玉助
平宗盛　桐竹紋司
鹽見忠太　吉田兵次
瀬尾十郎　吉田玉造
女房小よし　吉田小兵吉
百姓九郎助　桐竹門造
葵御前　桐竹龜松
矢橋仁惣太　吉田玉德
倅太郎吉　桐竹紋之助
庄屋　吉田兵次
百姓　大ぜい

### 第二　新作　出陣

西亭　作詞作曲　棋茂都陸平　振附
食滿南北　衣裳考案　大塚克三　舞臺装置

竹本相生太夫
竹本織太夫
竹本雛太夫
豊竹千駒太夫
竹本津磨太夫
豊竹宮太夫
竹本越名太夫
野澤松之輔
野澤（勝芳改め）勝太郎
野澤（網延改め）錦糸
竹澤團六
豊澤團伊三
鶴澤友花
鶴澤友三郎
鶴澤清友
鶴澤叶太郎
野澤八造
野澤吉五郎

【人形役割】

巴御前　吉田榮三
木曾義仲　吉田光之助
法師　桐竹紋太郎
郎黨右近　吉田多三郎
軍兵　大ぜい

### 第三　壺坂觀音靈驗記

澤市内より壺坂寺の段まで

竹本伊達太夫
野澤（勝平改め）喜左衛門
鶴澤友造
ツレ
豊澤猿二郎
竹澤團作
鶴澤清廣

【人形役割】

女房お里　吉田文五郎
座頭澤市　吉田玉助
觀世音　桐竹紋十郎

### 第四　本朝廿四孝

十種香より狐火の段まで

娘八重垣姫　竹本織太夫
武田勝頼　竹本住太夫
腰元濡衣　竹本重太夫
白須賀六郎　竹本長尾太夫
豊竹伊勢太夫
原小文治　豊竹富太夫
竹本三瀧太夫
長尾謙信　竹本春太夫
鶴澤觀西翁
鶴澤寛治郎
ツレ
鶴澤友衛門
野澤吉三郎
琴
野澤勝太郎
野澤錦糸

【人形役割】

娘八重垣姫　桐竹紋十郎
武田勝頼　桐竹龜松
腰元濡衣　吉田榮三郎
長尾謙信　吉田玉市
白須賀六郎　吉田玉德
原小文治　桐竹紋太郎

---

## 技藝獎勵晝間興行

### 八日・十五日の部（正午開演）

### 第一　壺坂觀音靈驗記

澤市内の段

竹本文字太夫
鶴澤一郎右衛門

壺坂寺の段

座頭澤市　竹本隅若太夫
女房お里　豊竹呂賀太夫
觀世音　竹本南次太夫
ツレ
野澤吉季
豊澤仙松

【人形役割】

女房お里　桐竹龜松
座頭澤市　吉田玉德
觀世音　桐竹紋之助

### 第二　新作　出陣

西亭　作詞作曲　棋茂都陸平　振附
食滿南北　衣裳考案　大塚克三　舞臺装置

竹本七五三太夫
竹本津磨太夫
豊竹松島太夫
豊竹宮太夫
竹本文太夫
野澤勝太郎
鶴澤友三郎
豊澤仙松
竹澤團作
鶴澤清廣
鶴澤清友

【人形役割】

巴御前　吉田榮三郎
木曾義仲　吉田光之助
法師　桐竹紋太郎
郎黨右近　吉田多三郎
軍兵　大ぜい

### 第三　本朝廿四孝

十種香の段

竹本源太夫
鶴澤友花

狐火の段

竹本越名太夫
豊澤團伊三
ツレ
鶴澤清廣
琴
野澤錦糸

【人形役割】

娘八重垣姫　桐竹龜松
腰元濡衣　桐竹紋司
武田勝頼　桐竹紋太郎
長尾謙信　吉田多三郎
白須賀六郎　吉田兵次
原小文治　吉田藤一

---

### 廿二日・廿三日の部（正午開演）

### 第一　壺坂觀音靈驗記

澤市内の段

竹本播路太夫
豊澤仙三郎

壺坂寺の段

座頭澤市　豊竹司太夫
女房お里　豊竹呂賀太夫
觀世音　竹本南次太夫
ツレ
豊澤新太郎
豊澤仙松

【人形役割】

女房お里　桐竹龜松
座頭澤市　吉田玉德
觀世音　桐竹紋之助

### 第二　新作　出陣

西亭　作詞作曲　棋茂都陸平　振附
食滿南北　衣裳考案　大塚克三　舞臺装置

竹本雛太夫
豊竹千駒太夫
豊竹松島太夫
竹本越名太夫
竹本源太夫
野澤錦糸
鶴澤友三郎
豊澤仙松
竹澤團作
鶴澤清廣
豊澤團伊三

【人形役割】

巴御前　吉田榮三郎
木曾義仲　吉田光之助
法師　桐竹紋太郎
郎黨右近　吉田多三郎
軍兵　大ぜい

### 第三　本朝廿四孝

十種香の段

竹本文太夫
鶴澤叶太郎

狐火の段

豊竹宮太夫
鶴澤清友
ツレ
竹澤團作
琴
野澤勝太郎

【人形役割】

娘八重垣姫　吉田光之助
腰元濡衣　桐竹紋司
武田勝頼　桐竹紋太郎
長尾謙信　吉田多三郎
白須賀六郎　吉田兵次
原小文治　吉田藤一